

☆**まちなのれんけい室市民相談会α** 午前10時～午後4時＜於：河内長野市医師会地域連携室＞

第21回7月15日(木)、第22回8月19日(木)、第23回9月16日(木)の開催予定です。医療、介護、福祉、成年後見、遺言、相続等の相談を行っています。相談は対面の他、電話、FAX、メールも可能です。

☆**ミニれんけいカフェ** ＜入れ替え制で、内容は同じです。参加証はありません。＞

○第3回(12月23日)・第4回(2月24日)・第5回(4月28日)・第6回(6月23日)は開催していませんが、資料を配布しています。ご希望の場合は、地域連携室迄ご連絡下さい。

○第7回は、下記の通り河内長野市医師会館3階会議室にて開催します。

| | | | | | |
|---|------|-------|----------|---------------|----------|
| ① | パート1 | 要事前予約 | 8月25日(水) | 午後1時30分～2時30分 | 資料配布と懇談等 |
| ② | パート2 | 要事前予約 | 8月25日(水) | 午後3時～4時 | 資料配布と懇談等 |

☆**在宅医療・介護連携推進事業における広域連携の推進のために！**

■現在MCS(メディカルケアステーション)を使つてのクラウドシステム(れんけいカフェグループ)への加入を募っております。現在、56名の加入です。加入の場合は、多職種への「FAX送信」に代わり、MCSによる情報提供を実施しています。MCSのお問合せ等は、地域連携室迄ご連絡下さい。

■在宅医療・介護連携推進事業における広域連携の一環として、6月11日(金)には、富田林市第一圏域地域包括支援センターの方と東成区医師会在宅医療・介護連携相談支援室の方と夫々懇談しました。前者では、高齢者の特殊詐欺対策、新型コロナウイルスのワクチン接種状況、ブルーカードシステムの運用などを話し合いました。後者では、認知症予防、任意後見、遺言書のことなどを話し合いました。

■河内長野市には、(A)「かわちながの連携シート」、(B)「かわちながの連携シート<サービス担当者会議用>」、(C)「かわちながの主治医意見書連絡シート」の3シートがあります。(C)は、要介護認定の申請時における「主治医意見書」作成の一助として、また申請のタイミングを知らせるものとして、医療介護関係者(送付者)が、知っている情報や伝えたいことを、本人・家族の同意の下、前もって主治医にFAX連絡するツールです。

■ブルーカードシステムにおいて、かかりつけの患者さんに、「ブルーカード」を発行するには、「登録医」としての登録が必要です。随時登録申込みを受付けていますので、お問合せ等は地域連携室迄ご連絡下さい。なお、急変時の受診連携システムが確立している(受診病院が確保されている)場合は、「ブルーカード」の発行対象にはなりませんので、ご注意下さい。

■大阪府警察本部制作動画「ストップ！特殊詐欺」・「高齢者向け交通安全」：前者は、特殊詐欺防止のための動画(短編集10話・計約11分)で、後者は交通安全対策のための動画(短編集5話・計約19分)となっております。昨今、新型コロナウイルス感染症におけるワクチン接種詐欺が出てくるなど、特殊詐欺事件は後を絶ちません。また、高齢ドライバーによる悲惨な事故等も多発しております。一人でも多くの方が、この動画を見て、特殊詐欺や交通事故の実態を知り、注意していくことが必要であると思っております。この動画は、河内長野警察署生活安全課・交通課のご好意により、皆さんに配布することが可能になりました。

つきましては、動画(DVD)ご希望の場合、地域連携室までご連絡下さい。

☆**ACP・終活を考える!** 意思決定支援たるACP(アドバンス・ケア・プランニング、人生会議)実践のために!

① ACPの第一歩は、どこでどのような医療・ケアを望むか、大切にしていることは何かなど、自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有していくことです。

② 法務局による自筆証書遺言書保管制度が始まっています。この制度を利用すれば、遺言書の改ざんや隠匿の防止ができ、家庭裁判所の検認(内容確認)も不要になります。保管申請手数料は3,900円(1通につき)です。窓口は、主に大阪法務局富田林支局(富田林市甲田1-7-2)になります。

③ 最高裁判所は、成年後見制度における「診断書」(医師作成)の書式改定と、「本人情報シート」(ケアマネジャー等作成)の導入を行いました。「診断書」は、「本人情報シート」に基づいて、作成するのが便利です。

■①「第8期河内長野市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」・②「河内長野市第4次地域福祉計画・河内長野市社会福祉協議会第3次地域福祉活動計画」(かわちながのつながり・支えあい推進プラン):

①では、河内長野市は人口103,552人、高齢化率35.0%、要支援・要介護者数7,087人となっています(昨年9月現在)。なお、令和5年には、人口は10万人を割るとされています。今期の介護保険料(標準)は、月額5,840円・年額70,080円です。②では、パンフレット「ほっとかへん。」も併せて出されました。

■第8回地域をみるみるコーナー: 地域を見てきました。

① サービス付き高齢者向け住宅「あさひ」(河内長野市千代田南町3-37) <6月12日(土)訪問>

6月16日(水)にオープンしました。24時間サポート体制で、部屋は18㎡と24㎡の2タイプとなっています。

② ネイルサロン・グログラン(河内長野市西之山町18-26) <5月25日(火)訪問>

認知症の症状緩和やQOLの向上等に効果があるとされる「福祉ネイル」の啓発拠点となっています。



◇ 福祉ネイル啓発会: 6月3日(木)・25日(金)開催(於・河内長野市医師会地域連携室)

日本保健福祉ネイリスト協会講師の杉岡美奈氏(グログラン店長)から、「福祉ネイル」の概要や実際の施術内容の説明、活用例(研究成果)や活動等の報告がありました。

◇ 河内長野市ケアネットワーク会議感染症・災害対策部会: 4月27日(火)開催 ZOOM

今後の災害発生時や感染症流行期における協力体制づくりに取り組むことが申し合された。なお、5月22日(土)は、オンライン研修会が開催されました。

◇ 河内長野市ケアネットワーク会議ケアマネ部会: 5月20日(木)開催 ZOOM

新年度役員の紹介、事業計画の説明、河内長野市高齢福祉課・介護保険課からの連絡・案内がありました。本会からは、「河内長野市れんけいエチケット集」(第2版)とれんけいカフェグループ(MCS)の紹介を行いました。他に、介護報酬改定に関する質疑応答がありました。

◇ 河内長野市訪問看護ステーション連絡会: 6月10日(木)開催(於・河内長野市医師会館3階会議室)

本会から、「ミニれんけいカフェ」の案内等を行いました。他に、意見交換などがありました。

□ 親心後見Webセミナー「親なき後のお金の話」: 6月18日(金)視聴 YouTube

「30年後に、私たちが死んだら“うちの子”どうなる?」をテーマに、講師の鹿内幸四朗氏(日本相続知財センター専務理事)からは自身の実体験を中心に、障害のある子が「親なき後」も幸せに暮らせるように、色々な対策、準備等の教示がありました。

□大阪府行政書士会枚方支部相続研修会:3月27日(土)開催(於・枚方市民会館会議室)

高齢者支援における民法改正事項、相続税の基礎、遺産分割協議のあり方、法定後見の申立て方法、家庭裁判所とは等について纏々説明がありました。

□日本行政書士会連合会「在留資格概要研修会」:6月17日(木)開催 **VOD方式**

外国人で介護福祉士の方には、「介護」「特定技能」「技能実習」「特定活動」の資格で在留が可能になっており、段々門戸が広がってきているなどの説明がありました。他に、インドネシア、フィリピン、ベトナムからの経済連携協定(EPA)に基づく介護福祉士候補者の受入れもあります。

◇河内長野市市民保健部との懇談:6月4日(金)・15日(火)・16日(水)・21(月)にありました。また、6月28日(月)には、「おれんじチーム」のチーム員会議が開催されました。なお、次回、地域ケア会議いきいきフェスタ検討委員会は、7月13日(火)の開催予定です。

☆ **ご案内 コロナ禍に負けないための、もしものときの緊急情報案内!**

◎河内長野市新型コロナワクチンコールセンター:0721-26-8135(平日9:00~17:30)

●厚生労働省新型コロナワクチン相談窓口:0120-761-770(9:00~21:00)

●消費者庁・国民生活センター**消費者ホットライン**:0120-213-188か188(全国共通・有料)

●**全国安全運転相談ダイヤル**:#8080シャープ ハレバレ(通話料は利用者負担、平日のみ)

●**警察相談室**(生活安全に関する不安):#9110(有料) ●**児童虐待通告・相談**:189(有料)

○**新型コロナウイルスに備えて**:新型コロナウイルス対策の一環として、国等から、様々なチラシ(ポスター)が発出されております。その中で、特に日常生活に関するものを集め、まとめてみました。本冊子は1~14、データ編1~3(色々な情報・調査結果等)とあります。本冊子希望の場合は、地域連携室迄ご連絡下さい。

※**新型コロナウイルス感染確認状況**(累計):河内長野市648人、富田林市981人、大阪狭山市514人、堺市7,367人、大阪市45,100人、大阪府103,383人となっています(6月30日現在)。

◇**ミニトーク(懇談)からあれこれ** ~ちょっとした立ち話や何気ない話から~

(1)生活保護に関する懇談(6月7日・月):ある行政書士の方と話をしました。生活保護被保護者の任意後見が増えてくることを考えると、法務職もこの制度の仕組みをよく理解しておくべきとの認識で一致しました。

(2)多職種連携に関する懇談(6月16日・水):ある医師の先生と、あるべき多職種連携について意見交換をしました。特に、災害時や感染症流行期には、行政を巻き込んだ連携が重要との意見で一致しました。

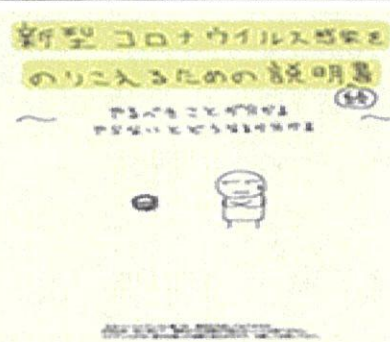
◎**大阪介護支援専門員協会団体賛助会員**(継続) 本部:大阪府中央区大手前1-7-31OMMビル3階

引き続き団体賛助会員となりました。本協会は、大阪府におけるケアマネジャーが組織する法人で、ケアマネジメントの促進と高齢者福祉の増進を目的としており、ほぼ市区町村毎に支部があります。

☆ **【Topics】**

○日本医師会「**求人広告掲載の際のトラブルについて**」:日本医師会から、「求人広告企業と無料求人広告の掲載を契約していた所、自動で有料広告に移行されており費用を請求されたり、解約の手続きを分かりにくくされているという悪質事例が出てきています。求人広告をインターネット等に掲載しようとする場合には、事前に広告料金や掲載期間、無料掲載期間終了後の料金、解約方法等をご確認の上、契約を行って頂きますようお願いいたします」との注意喚起が出されています。気を付けて下さい。

○「新型コロナウイルス感染をのりこえるための説明書」(総合診療科・玉井道裕医師):以前紹介しましたが、新型コロナウイルス対策の一環として、長野県茅野市にある諏訪中央病院から、ユニークな説明書が発出されています。全編、イラスト付きの解説本となっています。現在、11編まで拡充されており、最近では、「誰かの物語編」と「ワクチン編」が出されています。今後の参考にして下さい。詳細は、同病院ホームページをご覧ください。



○「はたらく細胞」:清水 茜氏による日本の漫画で、「月刊少年シリウス」(講談社)にて、2015(平成27)年3月号から2021(令和3)年3月号まで連載されました。ある人の体内で、年中無休で働いている数10兆個もの細胞(主に免疫系細胞)を擬人化した物語で、累計発行部数は500万部を突破している人気作です。また、2018(平成30)年からは、原作者監修によるアニメーションが制作されており、こちらも好評です。「アニメのおかげで子供に仕上げや教育がしやすくなった」「はたらく細胞のおかげで成績が上がった」「覚えないといけない用語がキャラになっていて覚えやすい」など学校教育の現場での評判が絶大です。今回、この「はたらく細胞」が、厚生労働省のポスターに採用されるとともに、「産経新聞」夕刊(令和3年6月9日・水)にも取り上げられました。



□「バリアフリー・慢性期医療展・看護未来展・在宅医療展 2021」(於・インテックス大阪) ←リアル展示
 <開催>8月25日(水)~27日(金)、いずれも10:00~17:00

「まちのれんけい室市民相談会α」啓発用の「ポケットティッシュ」を作っています。医院の待合室に置かせて頂ける先生がおられましたら、地域連携室(54-1700)迄ご連絡下さい。宜しくお願いします。

☆河内長野市医師会地域連携室 <TEL:54-1700 FAX:54-1567>

(まちのれんけい室)

<メールアドレス:chiikirenkei4@kawachinagano-ishikai.com>